

サンビュー南海

新春号
＜第25号＞

南海医療センター附属
介護老人保健施設
〒876-0857
大分県佐伯市常盤西町12-6
TEL 0972-20-5090

謹賀新年

南海医療センター附属介護老人保健施設
施設長 森本 章生



新年明けましておめでとうございます。皆さんの昨年一年はいかがでしたか？日本の少子高齢化の進行は早く、かつ最近の厚生労働省の研究班の報告では日本の認知症患者さんは、約440万人とも言われています。団塊の世代が65歳以上になってきて高齢者の人口増加に拍車がかかり、これからますます医療・介護の世界が厳しくなってきます。平成27年4月に介護保険制度の改定があり、老健施設は在宅復帰への中間施設であるという役割を果たすような方向性となりました。また今後、介護費用の自己負担が増えていくことも予想され、介護を必要とされる高齢者においては、在宅での介護もある程度余儀なくされることも想定されます。しかし高齢者の方々が安心して暮らしていける社会の実現に向けて、介護保険制度の充実など有効な施策を推進してほしいものです。

さて南海老健におきましては、入所および通所の方々に満足していただけるよう、職員一同研鑽に励みより質の高いサービスの提供に努めて参りたいと考えておりますので、今年もよろしくお願い致しますとともに、今年が皆様にとって良い年であるようお祈り申し上げます。

南海医療センター
院長 亀川 隆久



当施設をご利用いただいております入所・通所の方々、およびご家族の皆様、明けましておめでとうございます。平成28年・申年が始まりました。「申」の意味を調べてみると、「申とは、草木が伸び切り、果実が成熟して堅くなっていく状態を表す(漢書)」そうです。人間の成長の仕方を示唆しているような、とてもおめでたい言葉に聞こえます。

南海医療センター附属介護老人保健施設の全職員は、今年も、人生の先輩である皆様に、充実し、かつ、ゆったりした毎日を送っていただくために努力していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

そして、今年が、皆様にとって、まさに「申」にふさわしい良い一年になりますよう、元旦の日に祈念いたします。



2016



副施設長 麻生 浩美



新年明けましておめでとうございます。平素より南海医療センター附属介護老人保健施設をご利用いただき誠にありがとうございます。

私も昨年4月から赴任し佐伯の地で新年を迎えることが出来たこと嬉しく思っております。

今年度も医療施設や介護施設にとりましては厳しい状況が続くことと思いますが、利用者様やご家族にご迷惑をおかけすることが無いよう、職員一同各サービスに取り組み、皆様に安心してご利用できるよう努めてまいりますので、今年もどうかよろしく願い致します。



南海居宅介護支援センター
管理者 國部 昭夫



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は介護保険制度の改正があり国の動きとしては医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供されるよう整備が進められており、佐伯市でも施設サービスや在宅サービスなど介護保険制度の在り方が見直されているように思えます。このような動きの中、ケアマネジャーに求められるニーズも大きく、ご利用者が住み慣れた地域で可能な限り「自分らしい生活」を送るため、ケアマネジャーとして地域の資源や多様なサービスが効率よく活用できるよう努めることが大切だと思います。ご利用者の自己選択・自己決定を大切にしながら、干支の申のように元気よく動きまわり、時には温泉で疲れを癒しながら常に最善を尽くしていきたいと思えます。まだまだ至らぬ点多々ございますが、地域の皆様のご期待に少しでも応えることが出来ますよう日々精進して参る所存です。本年も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

看護師長 久保田 忍



新年明けましておめでとうございます。昨年は、ご利用者様やご家族様、地域の皆様にとくさんのご理解とご協力をいただきましたこと厚くお礼申し上げます。

昨年4月から施行された介護保険制度の改正は、これまで介護事業を揺るがす大きな改革でした。高齢者の生活を支援するために生まれた介護保険制度ですが、時代の流れに従って財源が厳しくなり、支援側のルールや支援の形・条件はどんどん変わり、そして複雑化するものも多いようです。まだまだ老健新人の私をはじめ、介護職員もこの仕組みや見直しについてしっかりと理解しておくべきと感じております。

本年も、南海老健は、老健本来の役割を担いつつ、ご利用される皆様にたくさん笑顔が見られる一年であるよう、職員一同で努力していきます。本年が、皆様方にとってより良き年になりますようお祈り申し上げます。

リハビリテーション室 室長
理学療法士 富松 満代



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

昨年は安保法案やTPP関連法案等話題となり、変わりゆく世界情勢の中日本がどうあるべきなのか、また地方がどうあるべきなのか考えさせられました。難しい問題ばかりですが地方が元気であるために、各地域が、南海医療センターが、そして私たちの施設が、さらに私たち一人一人が元気であることが何より大切であると考えます。

今年もまた「健康」について探求し、皆様と共に歩む一年にしたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



門松
明けまして
おめでとう
ございます

